

「部活動を通して」

菊池

先日行われた県総体で、ソフトテニス部の私は団体戦に出場しました。

1年生の時に入部してから、廣本先生のご指導の下、仲間とともに練習に励んできました。特に南予地区予選を終え、県総体出場が決まってからは、宇和高校の仲間たちと一緒に、より一層気持ちを込めて練習に取り組みました。苦しい練習や辛い練習で心が折れかけたこともありましたが、一緒に練習してくれる仲間がいたおかげで、なんとかやり遂げることができました。

いざ県総体となり、緊張が走るなか試合前にしっかりイメージトレーニングをして、試合に挑みました。

団体戦一回戦の相手は新居浜西高校で、私は二番手で出ました。一番手で出た仲間が負けてしまい、ここで勝たなければ終わってしまうという緊張とプレッシャーの中で私の試合が始まりました。

最初の1ゲーム目はサーブを取り先制点を取って流れを掴もうと考えていました。ファーストサーブはあまり入りませんが、相手のミスもあり1ゲーム目を取ることができました。2ゲーム目はコートチェンジでレシーブサイドになり、相手も入れにくいボールを打ってきて1ゲーム目とは違う形で進めてきました。しかし、私もそれに対応して相手の嫌なところにボールを打つようにしました。自分のプレーがうまくいき、そのまま2ゲーム目も取って、残りの3、4ゲームも自分たちが勢いに乗って勝つことができました。これで同点の状態になり、あとの三番手の仲間も勝つことができ、一回戦を突破することができました。

二回戦では済美高校とあたりました。優勝候補を相手に頑張りましたが、結果は負けてしまいました。二回戦敗退でしたが、目標の「一回戦突破」を達成することができ、楽しむことができたので良かったと思います。

私たちがこのような結果を残せたのは、一緒に練習してくれた仲間と教えてくださった先生そして、今まで支えてくれた親のおかげだと思っています。私は、部活動を通して様々なことを経験して成長し、かけがえのない仲間を得ることができました。また、先生方や親に支えられていることに気づき、感謝の気持ちを持つことができました。

最後の県総体は、二回戦敗退という結果になってしまいましたが、共に頑張った仲間や支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、部活動での経験を生かして、これからの学校生活を大切に過ごしていきたいと思っています。